

5
6
8
碗

ゴ
ロ
ハ
チ
ワ
ン
V
P
1
7

暮らしの中に深く根差す

江戸時代の初期、肥前の陶工「高原五郎八」によってつくられたといわれる「五郎八茶碗」。ご飯だけでなく、酒やお茶、惣菜などにも使われてきた碗は、まさに暮らしの器を体現している。

窯元 = 翔芳窯